

平成21年度各農業普及指導センターの畜産に係わる 普及指導計画重点課題について

各地域の農業普及指導センターでは、地域の農業の発展方向を踏まえて、年度毎に課題を設定して、普及指導活動を計画的に実施しています。

平成21年度の普及指導計画の中から、畜産担当普及指導員が中心に担当している重点課題の内容を紹介します。

【岡山農業普及指導センター】

[重点課題名]

自給飼料(稲 WCS)増産・利用体系化支援

[課題の内容]

○飼料イネの低コスト省力栽培技術、品質の安定した稲 WCS 調整技術及び合理的な保管流通・給与技術の普及と定着化。

○飼料イネ生産において、耕種と畜産農家双方での経費節減と所得向上支援。

○飼料イネ栽培面積の拡大推進と定着化。

○飼料イネ生産者と利用者が相互に協議調整する機能を持った継続的な流通体制の確立。

【東備農業普及指導センター】

[重点課題名]

耕畜連携による自給飼料の増産と経営の安定化

[課題の内容]

○稲わらたい肥交換面積の拡大に伴い、より良質なたい肥生産利用技術の向上。

○わら専用稲と飼料米生産の耕畜連携活動を強化し、適正な窒素投入量による収量向上を目指す。

○遊休水田への和牛繁殖牛放牧面積の拡大と放牧地の草地管理及び放牧牛の個体管理技術の向上。

【倉敷農業普及指導センター】

[重点課題名]

稲発酵粗飼料(WCS)の広域流通システムの推進

農業総合センター総合調整部普及指導課

[課題の内容]

○広域での耕畜連携システムを構築し、稲発酵粗飼料の生産供給体制の整備や利用拡大を図る。

○倉敷管内の地域別に稲発酵粗飼料の栽培方法を検討し転作作物としての確立を目指す。

【井笠農業普及指導センター】

[重点課題名]

畜産資源を活用した環境保全型農業の推進

[課題の内容]

○耕種農家に好まれるより一層高品質なたい肥の生産。

○たい肥の散布作業や需要期と不需要期の調整など堆肥舎部会の効率的な運営支援

○たい肥散布ほ場の土壌診断による施肥改善と高品質な自給飼料の生産拡大。

○アルファルファの導入に向けた、品種適正の検討と作業体系の確立。

[重点課題名]

公共育成牧場の生産性の向上

[課題の内容]

○公共育成牧場における乳用育成牛の発育・受胎成績の向上支援。

○水田裏を活用した自給飼料(イタリアンライグラス、麦)の増産。

○耕畜連携の強化による水田を活用した粗飼料生産・収穫体系の確立。

【高粱農業普及指導センター】

[重点課題名]

育成管理技術改善による産地育成と耕畜連携によるWCS利用体制の構築

[課題の内容]

○良質自給飼料生産及び給与による育成牛の飼養管理技術の確立と発育成績の向上。

○高粱地域に適したトウモロコシ及び稲発酵粗飼料の品種選定と収穫体系及び給与技術の

検討。

○耕畜連携による粗飼料生産体制づくり。

【新見農業普及指導センター】

[重点課題名]

飼養分担保体制の充実と自給飼料確保による肉用牛経営の安定

[課題の内容]

○和牛子牛哺育育成技術の向上による子牛飼養分担保体制の充実。

○和牛子牛哺育育成時のDGの向上や省力管理技術の導入。

○飼料イネ栽培推進のための耕種及び畜産農家を交えた推進体制の整備。

○飼料イネの低コスト、多収栽培技術の確立。

【津山農業普及指導センター】

[重点課題名]

飼料イネの栽培技術、稲WCS利用技術の普及と地域内流通体制の整備

[課題の内容]

○飼料イネの適期収穫作業期間を延長させるための栽培技術の検討。

○刈り遅れ防止や雑草防除など栽培管理の徹底による良質な稲WCSの生産拡大。

○鉄コーティング湛水直播栽培技術や疎植栽培技術の普及推進と飼料イネの低コスト安定栽培技術の確立。

○稲WCS利用推進を図るための運搬・流通体制づくり。

○稲WCSの和牛繁殖経営農家への利用促進。

【真庭農業普及指導センター】

[重点課題名]

乳牛の飼養管理改善による生産性向上

[課題の内容]

○酪農青年の基本技術習得と現場での実践支援による地域の技術リーダーの育成。

○蒜山地域の転作田でのトウモロコシの栽培実証。

○トウモロコシの収穫調製の作業体系や受託組織体制づくりの支援。

【勝英農業普及指導センター】

[重点課題名]

飼料イネによる耕畜連携水田農業システムの推進

[課題の内容]

○飼料イネ直播栽培の普及推進。

○飼料イネ生産・利用組合の耕畜連携活動の充実。

○飼料イネの団地化。

○飼料イネ収量の高位平準化と良品質ロール生産のための栽培管理の徹底。

○勝英管内へ飼料イネの取り組みを啓発。

[重点課題名]

牛群検定データ利活用促進による酪農経営改善

[課題の内容]

○牛群検定データの分析方法及び活用方法の習得と飼養管理ツールとしての活用促進。

○農家ミーティング等により、牛群検定データから得られた目標等を経営体内で情報共有できる体制の整備。

○牛群検定データの地域版利用マニュアルの作成、配布。

以上、11の重点課題以外にも、作物担当普及指導員を中心として、集落営農組織等を対象とした飼料イネ、新需要米(飼料米)など畜産に関係した重点課題にも取り組んでいます。

このように普及指導センターでは、地域全域や市町村ごとに様々な課題を設定し、関係機関とも連携をとった活動を行っていますので、お気軽に相談等をしてください。